

令和 8 年度 九州学生ラグビーリーグ 開催規約および実施要項

1. 主催および主管

主催：九州ラグビーフットボール協会（以下、九州協会）

主管：九州各県ラグビーフットボール協会（以下、各県協会）

2. 目的

九州地区大学ラグビーの競技力向上を図るため、試合の機会を設け、大学チーム間の親睦とラグビーの発展、強化、普及に寄与する。

3. 名称

本リーグ戦を九州学生ラグビーリーグ（A、B、C、D、ジュニア）と称する。

名称は「九州学生ラグビーリーグA」「九州学生ラグビーリーグB」「九州学生ラグビーリーグC」「九州学生ラグビーリーグD」「九州学生ラグビーリーグ・ジュニア」とする。

4. 運営

本リーグ各部（A、B、C、D、ジュニア）の運営は、大学委員会が行う。各試合の当番校が運営補助を担うが、当番校でないチームも運営に協力する。

5. 表彰

リーグAの1位（優勝）とリーグA2位（準優勝）、リーグジュニアの優勝ならびにリーグAの個人賞（得点王、トライ王、ベストキッカー）を表彰する。

6. リーグ参加チーム

各リーグのチームは、次の通りとする。

リーグ	チーム
リーグA	福岡工業大学・九州共立大学・福岡大学・西南学院大学・鹿児島大学・日本文理大学
リーグB	九州大学・大分大学・熊本大学・立命館アジア太平洋大学・沖縄国際大学・長崎大学
リーグC	宮崎大学・九州工業大学・九州産業大学・志学館大学・佐賀大学・九州大学医学部
リーグD	名桜大学・久留米大学・久留米大学医学部・琉球大学 九州歯科大学・福岡大学医学部
リーグ ジュニア	福岡工業大学・九州共立大学・福岡大学・日本文理大学

（令和 8 年 5 月 1 日現在）

7. リーグ参加チームの義務

（1）順位決定戦の1位チームに（公財）日本ラグビーフットボール協会主催の全国大学ラグビ

- ーフットボール選手権大会への出場資格を与え、1 位チームはその義務を負うものとする。
- (2) 順位決定戦の 5 位チームに（公財）日本ラグビーフットボール協会主催の全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会への出場資格を与え、5 位チームはその義務を負うものとする。
- (3) 順位決定戦の最終結果により次年度の所属リーグを決定する。
- リーグ A：1 位～6 位・リーグ B：7 位～12 位・リーグ C：13 位～18 位・リーグ D：19 位～

8. 参加資格

- (1)参加チームは、令和 8 年度九州協会にチーム登録をしている大学チームとする。
- (2) 参加選手は大学に在籍する正規の学生及び大学院生であり、且つ令和 8 年度に九州協会に個人登録しているものであること。但し、8 月 23 日までに登録されたものに限る。研究生、科目等履修生、聴講生、研修生などは正規の学生に含まない。
- (3)外国籍の選手は当該年度の 4 月 30 日までに正規学生として入学し、その後継続的に日本に居住し、部員として練習その他の活動を共にしていること。なお、競技区域内にいるプレーヤーの外国籍選手は 3 名までとする。但しリザーブ選手に人数制限は設けない。外国人選手の 9 月入学者(正規学生)は 10 月 30 日までの登録とする。
- (4)（公財）日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に反するものは参加を認めない。
- (5)A、B リーグはリーグ戦参加料を 50,000 円とする。C、D リーグはリーグ戦参加料を 30,000 円とする。8 月 23 日（日）までに、九州協会指定口座に振り込むこと。
- (6)その他、参加資格に疑義がある場合は、九州協会において裁定する。

【九州協会：指定口座】

口座銀行：西日本シティ銀行 支店名：天神支店

口座種別：普通口座 口座番号：0835987

口座名義：公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会 九州協会 久木元孝行

フリガナ：ザイ)ニホンラグビーフットボールキョウカイ

キョウシユウキョウカイ クキモトタカユキ

9. 申込み

出場チームは別紙『【●●大学】九州学生ラグビーリーグ参加申込書』に必要事項を記入し九州協会事務局へメールにて提出すること。

ただし、9 月入学の留学生は下記期日後でも追加登録を認める。

提出締切 令和 8 年 8 月 23 日(日)

申込書提出先

九州ラグビーフットボール協会 担当：坂本

KRFU-university-office@rugby-japan.or.jp

10. 競技規則

- (1)2026 年度（公財）日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。
- (2)リーグ A と B の試合時間は 40 分ハーフとする。リーグ C の試合時間は 35 分ハーフ、リーグ D は 30 分ハーフとし、1 位～8 位の順位決定戦は 40 分ハーフ、11 位決定戦以下は 35

分ハーフとする。

(3) リーグ戦における勝敗の決定方法

1) 同点の場合は引き分けとする。

2) やむをえず棄権する場合、当該チームは理由書を大学委員長に提出し、大学委員会から承認を得る。棄権したチームは不戦敗とし、対戦チームは不戦勝とする。

3) 15 名揃わない場合は、その試合は不成立とし、対戦チームの不戦勝とする。

(4) 各リーグの順位は勝ち点制度を用いて決定する。

1) 勝ち点の多い順に順位決定を行う。

勝ち：5 点、引分：3 点、負け：1 点、不戦勝：6 点、不戦敗：0 点、不成立：3 点
ボーナス点として以下の勝ち点を与える。

・ 7 点差以内の負けは、勝ち点 1 を追加する。

・ 3 トライ差以上での勝ち、勝ち点 1 を追加する。

全試合終了時点で、最も勝ち点の多いチームを 1 位とする。

2) 試合が中止となった場合

① 不可抗力により、不成立となった場合

双方のチームに勝ち点 3 点を付与し、得失点は付与しない。

② 一方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合

帰責性のあるチームを不戦敗とし、勝ち点と得点は付与しない。

対戦チームに勝ち点 6 点を付与し、得点 21 (3T3G) 点を付与する。

③ 双方のチームの責に帰すべき事由により、試合中止となった場合

双方不戦敗として扱い、双方のチームに勝ち点を付与しない。

得失点は付与しない。

3) リーグ戦全試合終了時点で勝ち点と同数の場合、次の各号の順序により順位を決定する。

① 全試合の勝利数の多いチームを上位とする。

② 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。

③ 当該チーム同士の試合で得失点差の多いチームを上位とする。

④ 全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。

⑤ 全試合で総トライ数の多いチームを上位とする。

⑥ 全試合でトライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

※ペナルティトライは 1 ゴールとしてカウントする。

⑦ 当該チームによる抽選を行う。

(5) 最終順位決定について

1) 最終順位決定方法

1 位～4 位：リーグ A の 1 位～4 位のチームで 1 位～4 位決定トーナメントを行う。

5 位～8 位：リーグ A の 5 位・6 位、リーグ B の 1・2 位チームで 5 位～8 位決定トーナメントを行う。

9 位～11 位：リーグ B の 3 位・4 位・5 位をそれぞれ 9 位・10 位・11 位とする。

12 位～13 位：リーグ B の 6 位、リーグ C の 1 位チームは順位決定戦 1 試合を実施する。

14 位～17 位：リーグ C の 2 位・3 位・4 位・5 位をそれぞれ 14 位・15 位・16 位・17 位とする。

18 位～19 位：リーグ C の 6 位、リーグ D の 1 位チームは順位決定戦 1 試合を実施する。

20 位～以下：リーグ D の 2 位以下を順次 20 位～とする。

① 順位決定戦での勝ち進みと順位決定方法

順位決定戦で引き分けの場合はリーグ戦における上位チームを上位とする。

② D リーグのトーナメント戦における順位決定が引き分けの場合、以下の順序で次戦進出チームを決定する

a. トライ数の多いチームを次戦進出チームとする。

b. トライ数が同数の場合はトライ後のゴール数の多いチームを次戦進出チーム決定する。

※ペナルティトライは 1 ゴールとカウントする

c. 上記で決定できない時は抽選を行う。

11. 競技方法

(1) 競技の執行

各リーグの競技の執行は、大学委員会のもと試合を開催する各県協会とその試合の当番チームを中心に行う。

(2) 試合の棄権、中止及び延期

1) チームに何らかの支障が生じ、棄権または日程変更を申し出る場合、チーム責任者は、遅くとも試合が行われる 1 週間前までに、チーム代表者である部長（教員・職員）が署名・捺印した書面をもって、各県協会大学委員長、九州協会大学委員長並びに九州協会事務局（大学担当）へその理由を報告しなければならない。

2) 九州協会大学委員会は上記の連絡及び理由書を受託後、速やかに、試合の中止または延期を決定し、各県協会大学委員長、各県協会、九州協会に報告する。

3) 各チームの代表者、大学委員会は台風等の悪天候、自然災害により試合の実施が困難な場合は、大学委員会委員長に諮り、試合の中止または延期を決定し、各県協会大学委員長、各県協会、九州協会に報告する。

※決定の判断は別紙「3 リーグ 天候等による中止判断」に準拠する。

4) 決定後、当該チームよりレフリー、アシスタントレフリー並びに競技関係者へ直ちに決定を連絡する。

(3) 試合開始 70 分前にプレマッチミーティングを行う。

1) 参加者はマッチコミッショナー、レフリー、アシスタントレフリー、両チームの主務、セーフティアシスタントとする（当番チームからの第 3 アシスタントレフリーを含む）。

2) マッチコミッショナーが進行し、試合開催にあたっての確認を行う。

3) マッチコミッショナーはプレマッチミーティング時に、両チームからメンバー表を受け取り、レフリー、アシスタントレフリー、ドクターの名前を確認する。

(4) レフリー及びアシスタントレフリー

レフリー及びアシスタントレフリーは九州協会及び各県協会レフリー委員会で指名された者とする。

1)各リーグのレフリー及びアシスタントレフリーへの依頼は、九州協会レフリー委員会が行う。

2)アシスタントレフリーの派遣がない場合は、公平で厳正なジャッジができる第三者がアシスタントレフリーを担い、やむを得ない場合のみ両チーム合意の上で適当な当該チーム関係者が行う。

3)第3アシスタントレフリーがいない場合は、当番チームが担うこととする。

(5)セーフティアシスタント

1)セーフティアシスタントは各チームより有資格者を1名選任し、リーグ指定のビブスもしくは、チーム保有のビブスを着用する。

2)試合中、セーフティアシスタントは競技区域の移動を可とする。ただし、給水、戦術指示は禁止とする。

(6)ボール及びボールパーソン

1)試合ボールは九州協会から配給されたボールを用い3ボール制とする。九州協会からの配給がない場合は各チームから供出する。

2)ボールパーソンは、当該チームより2名ずつの4名とする。

(7)ドクター及び救急対策

1)マッチデイドクター（以下、MDD）は九州協会及び各県協会から指定された者とする。

2)試合中の負傷についてレフリーの要求があった場合は、MDDが処置をし、チームドクターはグラウンドに入らない。

※レフリーの要求がない場合でもMDDがグラウンドに入り処置をする場合がある。

3)MDDが派遣されない場合は、傷害が発生した場合の選手の続行可能の判断を当該チームのチームドクターに依頼する。

4)MDD、チームドクターがいない場合はレフリーとマッチコミッショナーの判断に委ねる。

5)MDDがいない場合は、当番校は当日の救急病院を把握しておき、傷害が発生した際はマッチコミッショナーからの指示の元、救急搬送依頼など、迅速に対処する。

(8)ウォーター係

1)試合中の水分補給のため各チーム3名までウォーター係を配置できる。

2)試合中の水分補給は、ボールデッド時に限り、グラウンド内に入ることができる

3)ウォーター係はリーグ指定もしくはチーム保有のビブスを着用し、テクニカルゾーンまたは各チームベンチで待機する。

(9)記録

公式記録は当番校が本部席で作成する。試合終了後、マッチコミッショナーとスコア及び試合経過を確認し、マッチコミッショナーとマッチオフィシャルの署名を取り付けたのち、直ちに、九州協会事務局へ送付する。

(10)有料試合について

リーグの試合は一部有料試合を行うことがある。運営は九州協会、大学委員会、各リーグの学生が行う。

12. 競技上の留意事項

(1)メンバー表提出

- 1)チームは試合開始 70 分前に、所定の用紙に記載した試合メンバー表をマッチコミッショナーまたはゲームを管轄する当番チームの責任者に提出する。
- 2)ゲームを管轄するマッチコミッショナーは、予め協会に提出されているチーム別個人登録名簿に試合メンバーの名前が記載されているか確認し、両チームの試合メンバー表のコピーを第 3 アシスタントレフリー提出する。

(2)ジャージのカラークラッシュについて

両チームのジャージカラーが類似する場合はマッチコミッショナー及びレフリーの指示により一方のチームもしくは両チームがセカンドジャージを着用する。

※試合前日までに当該チーム間で確認し、当番校からレフリーに着用するジャージのカラーを伝える。

(3)ブリーフィング（ドレスチェック）

- 1)レフリーのドレスチェック（服装点検）前にスタッドの交換、ねじ締め、爪切りをすませておく。キャプテンもしくは主務はレフリーにブリーフィングの時間・場所を予め確認する。
- 2)プレーヤーの服装は、競技規則第 4 条「プレーヤーの服装」を厳守すること。

(6)選手の入替、交替

- 1)選手の入替、交替は第 3 アシスタントレフリーが管理し、必ず第 3 アシスタントレフリーを通して行わねばならない。
- 2)選手の入替、交替は、レフリーの許可のもとに出入りする。
- 3)リザーブ選手の上限は 8 名とし、指名する人数とフロントローとして適切に訓練され、かつ経験のあるプレーヤーの人数は競技規則第 3 条 8 項に示される下記の通りである。

指名人数	フロントローの人数
15 名、またはそれ未満	3 名
16 名から 18 名	4 名
19 名から 22 名	5 名
23 名	6 名

- 4)選手の入替、交替人数の総数上限は 8 名とする。

- 5)選手の負傷交替は医師の診断を受けて行う。

※MDD がいない場合は、各チームのチームドクター（いなければセーフティアシスタント）が確認し、マッチコミッショナーの指示に従い交替する。

(7)アンコンテストスクラム

アンコンテストスクラムは、（公財）日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則に準ずる。

(8)ハーフタイム

- 1)ハーフタイムの休憩時間を 12 分以内とし、事前に、レフリー、両チームキャプテン及びを

交えて時間の協議をプレマッチミーティングで行い、決定する。

2) ハーフタイムの時間が 5 分を超える決定をした場合、チームはその間、フィールドオブプレーを離れることができる。

3) ハーフタイム時に、フィールドオブプレーに入ることができるのは 8 名までとする。チーム監督、コーチ及びセーフティアシスタントのみとする。

(9) ドーピング検査

プレマッチミーティング、または試合終了後にドーピング検査の指示を受けた選手は、試合終了後、速やかに検査員の指示に従うこと。

(10) 退場を命じられたプレーヤー

最低でも次の 1 試合は出場停止。試合終了後、直ちに状況確認が行われ、その後、九州協会規律委員会にて追加処置が裁定され、最終処置を決定する。

(11) 罰則

1) 同一試合で、同一プレーヤーが 2 回目の一時的退出（イエローカード）を宣告された場合、当該プレーヤーは、宣告された時点で退場処分となる。

2) 同一シーズン中に、一時的退出（イエローカード）の 3 回目の宣告をされた場合、当該プレーヤーは 3 回目の宣告を受けた試合終了後、直ちに状況確認が行われ、最低でも次の 1 試合は出場停止。九州協会規律委員会にて追加処置が裁定される。

※「同一シーズン」には、各チームが所属するリーグ戦の他、リーグジュニアも含む。

3) 参加資格を偽った者、参加資格のない者が出場した場合は、そのチームはその事実が発覚した時点で大会から除名され、次年度大会の出場も認めない。なお、その場合、事実発見時の対戦チームを勝者とするが、それ以前の勝敗については触れない。

4) その他スポーツマンシップに反する行為があった場合は前項に準ずる。

5) 参加チームは、当該大学に所属する応援者の行為についても責任を負うこと。

【特記】レッドカード・イエローカード適用時の外国籍選手の起用

「退場（レッドカード）」「一時的退出（イエローカード）」適用時の外国籍選手の試合に出場できる人数について、「試合に出場できる人数」とは競技規則第 3 条 1 項に定める「競技区域にいる、プレーヤーの人数が 15 名を超えてはならない」を指す、との解釈の下、下記の通り定める。

①「退場（レッドカード）」

退場となったプレーヤーを除く、残ったプレーヤーの人数の内、外国籍選手は 3 名まで。

（例：外国籍選手が退場になり、プレーヤーの人数が 14 名となった場合、その内 1 名を外国籍選手と入れ替えて外国籍選手の出場人数を 3 名とすることは可能とする。）

②「一時的退出（イエローカード）」

外国籍選手が一時的退出となった場合、一時的退出の時間中も、その外国籍選手は 15 名の中に含まれるとみなす。実際にプレーしている人数が 14 名でも、外国籍選手は 3 名と数え、14 名の中で更に外国籍選手を 1 名加えることは認められない。

（注：“外国籍選手がシンビンとなったので、残りの 14 名中の日本選手 1 名を外国籍選手と入れ替えて 14 名中 3 名とし、一時的退出になった外国籍選手は以降出場させない。一時的退出の解消後日本人選手とシンビンとなった外国籍選手を入れ替える“ということは認め

られない。)

(12) 広告の掲出

(公財) 日本ラグビーフットボール協会規定に準ずる。

1) 選手の服装に関する規定 (改正後)

https://rugby-japan.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/file/html/172184_65cde955d2fc8.pdf

2) 商業広告への出演等に関する規定 (改正後)

https://rugby-japan.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/file/html/172183_65cde885d4576.pdf

3) 「大学生以上のチーム」を対象とする商業活動に関する運用ガイドライン

https://rugby-japan.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/file/html/172190_65cf55d73f277.pdf

(13) 応援について

1) 試合中、笛や太鼓等鳴物の使用は競技に支障を来すので厳禁とする。

2) 過度な応援は慎む。

3) すべての応援についてはチームが一切の責任を持つ。

4) チームの応援用横幕は、縦 1 m 以内、横 5 m 以内の範囲で、九州協会とスポンサー契約をしていない企業名、マークの掲載は認められない。

(14) その他

1) アシスタントレフリー、セーフティアシスタント、ボールパーソン、ウォーター係を学生が担当する場合は、服装を統一し、行動は機敏に行うよう各チームで指導する。また、ゲーム中にプレイヤーに指示を出すことは禁ずる。

2) チームゾーン及びテクニカルゾーンを設置する。

3) 更衣室・選手控室の管理は使用チームが行う。試合終了後、更衣と清掃を行い、速やかに退出する。

13. 競技場の整備、競技の運営

(1) 当番校は次のことに責任を持つ

1) 競技場の使用確認、マッチコミッショナー、レフリー、への連絡を試合の 1 週間前までに行い、ドクターの連絡は 2 日前までに行う (ドクターの連絡方法は県によって対応方法が異なる)。

変更がある場合は、各県協会大学委員長に連絡し然るべき対応をとる。

2) 競技場及びグラウンドの準備・設営

○競技場を使用する場合、必ず以下を設置、設営する

本部、レフリー控室、更衣室・選手控室、得点板、両チームベンチ、机、椅子、担架

競技場の状況や有料試合開催に応じ、以下を設置、設営する

協会旗、トラック横断用シート設置、チケット販売場 (有料試合の場合)

○競技場以外で行う場合、必ず以下を設置、設営する

テント、本部、得点板、両チームベンチ、机、椅子、担架

以下、設置可能な範囲で設置する

更衣室、レフリー控室、協会旗

○グラウンド：危険物の撤収・覆い、ライン、コーナースタック、ゴールポストの設置

※重要：試合開始 90 分前までに競技場及びグラウンドの準備を終える。ただし、会場の時間制限等などに配慮し、適宜対応する。

3) チケット・プログラム販売（有料試合のみ）

4) 関係者・観客の誘導

5) 試合終了後の片づけ、清掃

6) 九州協会へ公式記録の送付

7) 競技運営を支障なく行うための計画、準備、実施及び撤収

① 試合ボール、協会旗、タッチフラッグの準備

② 協会から派遣がない場合の第 3 アシスタントレフリー

③ 協会関係者の案内

④ その他（アフターマッチファンクションの準備など）

⑤ その他競技運営上に生じた問題・支障に関して協議すること。

14. 個人情報及び肖像権について

大会参加に際し、ご提出頂いた関係書類に記載の個人情報、及び大会期間中の写真・動画を下記の目的のために使用致します。また、情報の管理につきましては遺漏のないように努めます。なお、必要に応じて報道関係、関係雑誌等に情報や写真・動画を提供することがあります。

（使用目的）

（1）参加資格の確認

（2）大会プログラムへの掲載

（3）九州ラグビーフットボール協会及び九州各県協会公式HP・公式SNSへの掲載

（4）九州ラグビーフットボール協会 YouTube チャンネルでの動画配信

（5）その他関係資料への掲載

本大会に参加申し込みされたことにより、個人情報・肖像権の取扱いについては、上記記載事項に関して承諾を得たものとします。

15. その他

本要項に定めない事項については、九州協会大学委員会および九州協会事務局の決議により、これを決定する。

<付則>

1. 九州協会大学委員会申し合わせ事項

(1) 同一大学系列、同一キャンパス内にある短期大学生で、上記 8 の(2)のチームで部員として練習その他の活動を共にしている正規の学生は、九州協会大学委員会の申し合わせ事項として九州学生ラグビーリーグ戦に限り参加資格を認める。しかし、全国大会への出場参

加資格は与えられない。

- (2)リーグC、Dにおいては、ラグビーファミリーの大学カテゴリーに登録された同一大学内のチームであり、且つ、令和8年度九州学生ラグビーリーグに出場しないチームの選手であれば出場を認める。但し出場するリーグは上位リーグのチームとして出場をする。

例

〇〇大学ラグビー部 リーグC所属

〇〇大学医学部ラグビー部 リーグD所属もしくは前年度未出場

〇〇大学医学部ラグビー部が令和8年度九州学生ラグビーリーグに出場しない場合は〇〇大学医学部ラグビー部の選手も〇〇大学ラグビー部の選手として出場を認める

2.本要項は令和8年9月1日から実施する

※本要項の改訂は、改訂案を九州協会大学委員会で検討し、九州協会理事会で審議了承された後、施行される。